

1) 四角の中の数字が「スジ虫」に食べられたと話す。
2) 部分の囲みと全体の囲みのどちらが多くを囲んでいるか(または同じか)を、計数を離れて考えるさせる。
3) 等号・不等号を書いて示させる。
4) 抽象性が高いので困難な場合は深追いしないこと。

a) 部分と全体の関係を考える課題のレビュー。
幼児は部分と全体を同時に把握することが難しいが、7
ロセ入を迫えま不可能ではない。
b) 部分と全体の認識は、数の操作、ことに引き算の理解の
前提として重要である。

Date /
Note /
評



は <かな >かな =かな。

